

山形県高校入試問題分析と受験対策

2024. 8. 15 (木)

入試出題問題を解いてみよう！

受験勉強というのは、出た問題をすべて解けるようにすることから始まります。

だから、まず最初にやることは、入試問題を解いてみることです。

過去5年分の入試問題を載せた参考書が出版されています。この参考書を使うと入試出題問題を解くことができます。2～3年分の過去問を解いてみて下さい。

もちろん、まだ学校で習っていない問題は解けませんから、そこは飛ばします。

また、すでに学校で習った問題であっても解けない問題もあります。しかし、…

- 教科書のどの単元のどんな内容の問題が出題されたのか。
- どの程度のレベルの問題が出題されたのか。
- 配点はどうなっているのか

等々についての入試情報は手に入れることができます。

あるいは、問題の難しさのレベルについてはわからないかもしれません。

最初は、それでいいのです。

とにかく、この段階では、入試問題とはどんなものか、を知ることだけが目的です。

つまり、これからやる受験勉強の到達点・目標がわかればいいのです。

山形県公立高校入試問題分析データ

数専ゼミの「山形県公立高校入試分析データ」をみると、山形県公立高校入試問題について、次のような情報を得ることができ、受験勉強の指針として利用することができます。

これらのデータは、数専ゼミのホームページでご覧になれます。

→ Link: | [山形県高校入試情報](#) |

■ 出題「年度別」入試問題の情報

(1) 入試問題そのもの

2019年度～2023年度の5年分の入試出題問題の実物を紹介しております。

(2024年度分近々紹介する予定です。)

それぞれの問題について…

(2) 学校で学習する学年(何年生のときに学習する問題か)

(3) 入試の配点(教育委員会の公式配点、入試問題の解答書に書いてある配点)

(4) 問題の難易度(4段階A, B, C, D: レベルの説明は資料の中に書いてあります。)

に関する分析結果を紹介しております。

こちらからご覧いただけます。→Link: | [山形県公立高校入試出題問題分析 MENU](#) |

| [年度別出題内容分析](#) |

■ 「単元別」入試問題の情報

大問4題については、過去50年分の出題問題について、次の情報が紹介してあります。

(大問の中の個々の小問単位で…/”大問”とは、次の項目を参照。)

- (1) 出題年度
- (2) 配点
- (3) 出題内容(解法パターン)
- (4) 難易度(4段階 A, B, C, D)

こちらからご覧いただけます。→Link: | [山形県公立高校入試出題問題分析 MENU](#) |
| [方程式&連立方程式](#) |
| [1次関数](#) |
| [合同・相似・円・三平方の定理\(図形の総合問題\)](#) |

山形県入試問題:2種類の入試問題

そこで、これらの入試問題情報を使って受験勉強をするわけですが…

入試出題問題をみると、山形県の入試問題には、2つの種類があることがわかります。

- (1) 配点が8点以上の大問が4題 これだけで合計48点の配点
- (2) その他は、配点が5点以下の小問で、合計で52点の配点

(2)については、計算問題とか図形の単発の計量問題(角度、面積・体積など)、確率、作図問題が中心で、過去問を20~30年分くらい、繰り返しドリルをすると100%解けるようになります。

重要で、難しいのが、(1)の大問4題です。出題範囲は、

- ① 方程式・連立方程式の文章題 (10点)
- ② 2次関数 (比例や1次関数との融合問題/8点)
- ③ 1次関数 (20点)
- ④ 合同・相似・円・三平方の定理 (図形の総合問題/20点)

です。

山形県入試問題:大問4題の指導

これらは、数学が苦手な人には、いきなり過去問ドリルというわけにもいきませんから、まず入試問題を解くのに必要な”基礎”の学習から入ります。

個々人によって、苦手な分野は異なりますので、その人がやらなければならない分野から学習を始めます。

この”基礎学習”とはどんなものかについては、[Essay_872](#) で簡単な例を紹介しています。

また、基礎学習で使う教材については、その一部分をご覧いただけます。

→Link | [「中2数学」教材サンプルMENU](#) |

”基礎学習”が終了した分野から過去問ドリルに入ります。

なお、過去問は、一般的には次の計画で学習します。

- ① 方程式・連立方程式の文章題

- ② 2次関数と比例・反比例あるいは1次関数の融合問題
- ③ 1次関数の応用問題
- ④ 合同・相似・円・三平方の定理（図形の総合問題）

* この4つの単元の学習順序は、その人の学力の到達点に応じて決めます。
あるいは、学習したい順に学習することもできます。

過去問は、50年分を用意してあります。

①～④のうち、1分野をねらいうちで学習する場合は50年分が学習できます。

①～④のすべての分野、あるいは複数個の分野を学習したい人には、10年とか20年とか30年分の学習をします

【補足説明】・すぐ過去問に入れる分野については、“基礎学習”をせずに、ただちに過去問のドリルに入ります。

・入試勉強の学習計画は、一律に決まっているわけではなく、個々人の学力の到達度に応じて個々に設定して、時間の無駄なく、効果的に進めます。

山形県入試問題：小問の指導

配点が5点以下の計算問題や確率、作図問題は、自宅学習になります。

問題を無料であげますので自宅で学習しておきます。

教えてもらわなくとも自分で解けるからです。

もし解けない問題があったら、塾へもってきて教えてもらいます。

過去50年分の資料がありますが、20～30年分くらい学習すると、ほとんどの問題が解けるようになります。



入試直前対策＝総合実戦力を養う

3年生の1月以降は、単元別の過去問学習と並行して、“入試模試”の訓練をします。

この段階では、単元別の学習がかなり進んでいるので、“入試模試”はひとりで学習できます。

解けない問題は塾にもって行って教えてもらいます。

次の計画で、自分で学習を進めます。

(1) 年度別の過去問総合練習

最初は、時間を決めなくて、とにかく全問を解けるにします。

2024年度から年度を遡って、入試の日まで、やれる限りやります。

(数専ゼミには過去50年分の過去問がありますので、十分入試練習ができます。)

80点程度が取れるようになったら、時間を50分にして解く練習をします。

(2) 入試予想問題

入試予想問題としては、東北・関東各県の過去問を使うこと

出題内容やレベルが比較的”近い”からです。

問題は塾でコピーしてあげます。やってみたい県の入試問題を請求して下さい。

【注意】市販の「予想問題集」などは使わないこと。
山形県の入試問題とはまったく内容もレベルも違うからです。

無料体験学習

入試問題とその基礎の学習を体験できます。

学習してみたい内容を指定して下さい。

たとえば、方程式の過不足算の問題とか1次関数の動点と面積の問題、平行四辺形の証明問題などなど…。

お電話で予約して下さい。日程と学習内容の打ち合わせをします。

山形県高校入試受験指導50年の歴史をもつ

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp